

令和 5 年 6 月 4 日現在

機関番号：32617

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2021～2022

課題番号：21K20048

研究課題名（和文）戦国大名北条氏の当主・一門衆・主な家臣の発給文書における花押・祐筆の比較分析

研究課題名（英文）Comparison of Kaou and Yuuhitu in Documents issued by the Lord, Ichimon, and Main Retainers of the Sengoku Daimyo Hojo clan

研究代表者

浅倉 直美 (Asakura, Naomi)

駒澤大学・文学部・准教授

研究者番号：80907882

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 800,000円

研究成果の概要（和文）：2021年度は、コロナ感染症の影響により十分な調査が実施できなかったが、佐倉市の宝金剛寺、茨城県立歴史館の江口文書、新潟県南魚沼市の普光寺文書の調査を実施した。2022年度は、新潟県立歴史博物館、群馬県甘楽町歴史民俗資料館、埼玉県立文書館、福島県のいわき市大國魂神社・南相馬市立博物館・棚倉町板橋家、横浜市神原家における古文書実見調査を行った。

多くの花押型について熟覧の機会を得ることができたうえに、貴重な情報を入手することができた。また、北条氏一門の花押型および戦国期文書との関連や比較検討も行った。あわせて、北条氏一門発給文書・花押型変遷を検討する文書一覧表の作成なども進めた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

戦国期の研究においては、現在、戦国大名とは、大名家当主を頂点とした家族・一門衆・家臣を含めた組織・共同体であると理解されている。

また、研究の基本史料である発給文書については、自治体史・史料集に活字化された文書を、あらためて熟覧することにより、新知見を得る必要が求められている。

戦国大名小田原北条氏の研究において、発給文書の詳細な分析は、当主を中心に進められてはいるが、当主の家族である一門衆・家臣の発給文書については、詳細な研究はまだまだ十分とはいえない。このため、本研究においては、北条氏の一門衆と家臣の文書の詳細な研究をおこない、北条氏研究および戦国大名研究の基礎的研究の

研究成果の概要（英文）：In 2021, although we were unable to conduct a full survey due to the impact of the corona infection, we conducted a survey of Hokongoji in Sakura City, the Eguchi Documents of the Ibaraki Prefectural Museum of History, and the Fukoji Documents of Minamiuonuma City, Niigata Prefecture. In 2022, the Niigata Prefectural Museum of History, Gunma Prefecture Kanra Town Museum of History and Folklore, Saitama Prefectural Archives, Iwaki City Okunitama Shrine, Minamisoma City Museum, Tanagura Town Itabashi Residence in Fukushima Prefecture, and the Kanbara Residence in Yokohama City. I did some research.

In addition to having the opportunity to peruse many of the flower stamps, I was able to obtain valuable information. In addition, we conducted a comparative study on the relationship with the Hojo clan's Kaogata and Sengoku period documents. At the same time, we proceeded with the creation of a list of documents issued by the Hojo clan and documents to examine the changes in kao style.

研究分野：日本中世史（戦国史）

キーワード：戦国大名 小田原北条氏 花押 戦国大名の一門衆 戦国大名の家臣

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

(1) 戦国大名北条氏に関する発給文書の研究として、当主についての研究は進展しているが、一門衆および重臣については部分的な研究にとどまった状況である。このため、外交面においても主要な役割を果たしている一門衆・重臣の発給文書について、網羅的に細部にわたっての分析が進められる必要がある。

(2) 外交文書における発給主体を確認するために、祐筆についての詳細な分析が求められるが、北条氏文書においては、十分に行われていないため、外交文書における祐筆についての確認作業と分析を進めていく必要がある。

### 2. 研究の目的

戦国期の研究においては、現在、「戦国大名」とは、大名家当主を頂点とした家族・一門衆・家臣を含めた組織・共同体であると理解されている。また、研究の基本史料である発給文書については、1980年代を中心に刊行された自治体史・史料集に活字化された文書について、あらためて細部にわたり熟覧することにより、新知見を得る必要が求められている。

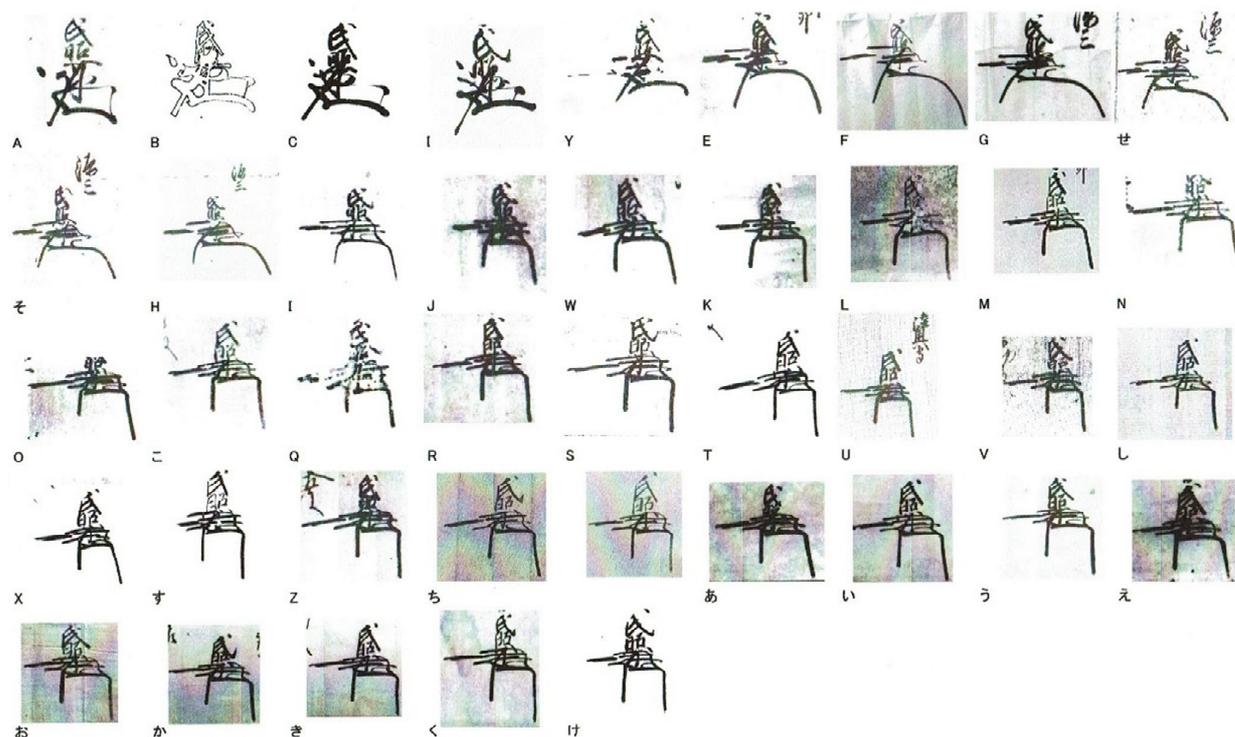
小田原北条氏の研究において、発給文書の詳細な分析は、当主(宗瑞・氏綱・氏康・氏政・氏直)を中心に進められてはいるが、当主をささえた一門衆・家臣の発給文書については、詳細な研究は、いまだ十分とはいえない。このため、本研究においては、北条氏の一門衆と家臣の文書の詳細な研究をおこない、北条氏研究および戦国大名研究の基礎的研究の進展を試みる。

### 3. 研究の方法

各地に所在・所蔵されている古文書原本の実見を通して、花押型の確認および詳細な知見を得る。多くの花押型を熟覧のうえ、比較検討・分析をおこなう。その手順は、既刊の自治体史・史料集をもとに、一門衆・家臣の発給文書について、所蔵先のリストを作成する。その際、先行研究における情報も参考とする。/所蔵先に閲覧申請(文書および電話連絡)をおこない、調査を計画する。/文書調査(古文書の熟覧・撮影・記録)をおこなう。/実見不可能な史料は、自治体史・博物館展示図録等に掲載の画像より収集する。/データの保存・分析を行う。

### 4. 研究成果

(1) 北条氏照(三代氏康三男・五代氏政弟・源三・陸奥守)花押一覧



(2) 北条氏規 (三代氏康四男・五代氏政弟・助五郎・左馬助・美濃守) 花押一覽

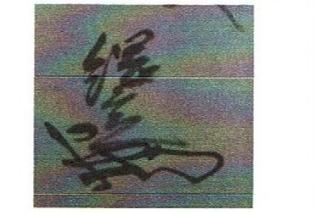
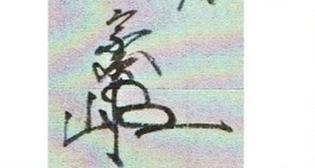
1	2	3	4
			
(永禄12カ) 6・3	(永禄12) 9・20	(元亀元カ) 8・17	(元亀元) 9・17
越前史料山本文書	相州文書	越前史料山本文書	越前史料山本文書
花押1-1 影写本	花押1-1 写	花押1-1 影写本	花押1-1 影写本
5	6	7	8
			
(年未詳) 3・18	(年未詳) 10・8	(天正5カ) 4・17	(天正5) 8・20
越前史料山本文書	越前史料山本文書	堀口文書	仙台市博物館所蔵文書
花押1-1 影写本	花押1-1 影写本	花押1-2	花押1-2
9	10	11	12
			画像あり
(天正5) 9・晦	天正5・12・2	(天正10) 3・13	(年未詳) 1・14
越前史料山本文書	越前史料山本文書	酒井家旧記五	孕石文書
花押1-2 影写本	花押1-2 影写本	花押1-2 写	花押1-2 影写本
13	14	15	16
			画像あり
(年未詳) 2・19	(年未詳) 4・12	(年未詳) 5・6	(年未詳) 8・5
芹沢文書	越前史料山本文書	越前史料山本文書	集古文書 七三
花押1-2	花押1-2 影写本	花押1-2 影写本	花押1-2 写

17	18	19	20
	画像あり		
(年未詳) 12・10	(元亀3) 3・5	(天正11) 正・5	(天正11) 8・17
越前史料山本文書	孕石文書	神奈川県博所蔵文書	藩中古文書 四
花押1-2 影写本	花押1-3	花押1-3	花押1-3 写

21	22	23	24
		岡山林原美術館へ	画像あり
(年未詳) 6・26	(年未詳) 9・23	(年未詳) 10・18	(年未詳) 12・24
北条文書	北条文書	池田文書	新編会津風土記七
花押1-3	花押1-3	花押1-3 写	花押1-3 写
25	26	27	28
画像あり		画像複写依頼中	
(天正12) 4・6	(天正12) 7・26	(年未詳) 2・5	(年未詳) 1・13
不破文書	田島(丑十郎)文書	東大史料編纂所文書	相承院文書
花押2-1 影写本	花押2-1 影写本	花押2-1	花押2-2

29	30	31	32
閲覧申し込み中	画像あり	画像あり	
(年未詳) 1・20	(天正15) 3・21	(天正16) ⑤ 24	(天正17) 11・晦
高橋文書	朝比奈文書	朝比奈文書	武州文書
花押2-2	花押3-1 影写本	花押3-2 影写本	花押3-2 写
33	34	35	36
画像あり	画像あり	画像あり	
(天正17) 12・9	(天正20) 2・19	(天正20) 2・19	(天正20) 2・19
古証文 五	水戸朝比奈文書	狭山朝比奈文書	保坂潤治氏所蔵文書
花押3-2 写	花押4 影写本	花押4	花押4

(3) 主な家臣の花押型

井出 以三 川越市 大野文書		猪俣 邦憲 奈良原文書	
井出 時吉 越前史料山本文書		富永 助盛 奈良原文書	
井出 時吉 越前史料山本文書		三山 綱定 上杉家文書	
笠原 綱信① 御穂神社所蔵 江梨鈴木文書		清水 綱吉 御穂神社所蔵 江梨鈴木文書	
笠原 綱信② 小出文書		狩野 宗円 岡見文書	
松田 盛秀		堤文書	
松田 憲秀		南 図書助 出浦文書	
松田 直秀		狩野 照宗 岡見文書	

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 0件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 浅倉 直美	4. 巻 第98号
2. 論文標題 北条氏規家臣南条因幡守と南条氏一族	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 駒沢史学	6. 最初と最後の頁 1～24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 浅倉直美	4. 巻 無し
2. 論文標題 井出内匠助と井出時吉	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 著書『小田原北条氏一門と家臣』岩田書院	6. 最初と最後の頁 193～206
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

浅倉直美著『小田原北条氏一門と家臣』（岩田書院、2023年刊行、371頁）は、既発表の論文を収録したものであるが、前掲の「井出内匠助と井出時吉」のほか、花押に関する論考については、本研究の成果の一部をふまえた追記・補註を加筆した部分もある。

6. 研究組織

氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------